

世界アルツハイマーデー記念イベント

忘れても 寄り添うところが 支えてる

～認知症 とともに新しい時代へ～

◆9月21日は世界アルツハイマーデー

「認知症」は誰にでも起こりうる脳の病気です。
自分のため、家族のため、地域で暮らす認知症の人とその家族のため・・・
認知症のこと、もっと知ってください！



日時

平成28年 **9月18日(日)**
13:30～15:30

場所

福井県国際交流会館
第1,2会議室

～プログラム～

- 13:30～ 開会あいさつ
- 13:35～14:15 「**高齢者と運転**」
講師：福井県警察本部 交通部 交通企画課 上田 裕司 氏
- 14:15～15:25 **記念講演「認知症サポーター養成講座 ～高齢者の運転について～**
講師：公益財団法人松原病院 代表理事 松原 六郎 氏
- 15:25～15:30 閉会あいさつ

参加無料♪
予約不要♪

今年のテーマは「高齢者と運転」です。

自動車の運転は、生活の「足」であることはもちろん、普段の生活にメリハリを与えてくれます。自動車無しでの生活など、考えられないという人もいることでしょう。

一方で、高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となっているのも事実です。高齢者に優しい交通システムとは、高齢運転者の事故防止のための対策とは、、、一緒に考えてみましょう。

●問い合わせ先●

福井県長寿福祉課在宅ケア推進グループ

☎0776-20-0332 FAX 0776-20-0642 E-mail:choju@pref.fukui.lg.jp

共催：福井県、公益社団法人認知症の人と家族の会 福井県支部

後援：厚生労働省

駐車場は福井県国際交流会館東側の臨時駐車場（議長公舎跡地）をご利用ください。

認知症ってどういう病気？



認知症は
身近な病気です。



認知症は、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、日常生活に支障をきたす病気です。

現在の福井県内では65歳以上の高齢者の約1割が認知症となっています。高齢化に伴って、認知症高齢者は今後ますます増加すると予想されています。

認知症の方に どう接したらいいの？



笑顔で優しく！

●基本姿勢●

認知症の人への対応の心得“3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない



●具体的な対応の7つのポイント●

まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人や他の人に気づかれないように、さりげなく様子を見守りましょう。

相手に目線を合わせて やさしい口調で

小柄な方には体を低くして目線を同じ高さにして対応しましょう。

余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

おだやかに、 はっきりした話し方で

ゆっくり、はっきりと話すようにしましょう。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

声をかける時は1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけましょう。

相手の言葉に耳を傾けて ゆっくり対応する

たどたどしい言葉でも相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきましょう。

後ろから声をかけない

唐突な声かけは禁物です。「何かお困りですか。」など、さりげない言葉がけを心がけましょう。



認知症の方もいろいろな能力を持っています！